



2026年7月22日

各位

会 社 名 株式会社リンクバル
代表者名 代表取締役社長 吉弘 和正
(コード番号：6046 東証スタンダード)
問合せ先 取締役 松岡 大輔
財務経理部長
(TEL. 050-1741-2300)

**自社大型イベント戦略が順調に進捗
「MEGA LOVE FES」累計開催数30回・参加者数15,000名突破、開催都市も14都市へ拡大**

株式会社リンクバル（本社：東京都中央区、代表取締役社長：吉弘和正、証券コード：6046、以下「当社」）は、成長戦略として掲げるイベントECプラットフォーム「machicon JAPAN」のスパイラル型成長モデルにおいて重要な起点と位置付ける自社大型イベントとして、大型恋活フェス「MEGA LOVE FES」（以下「本イベント」）を全国各都市にて継続的に展開しております。本イベントは、2025年7月の大阪開催を皮切りに1年間で開催エリアを14都市まで拡大し、累計開催数30回・参加者数は延べ15,000名を突破いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本イベントは、当社が「メガ級の出会い」をテーマに全国各都市で展開する自社大型イベントシリーズであり、独身男女だけが参加できる特別な空間の中で、出会いの量・質・偶然性を演出する複数の企画を通じて特別な出会いを提供しております。

1. 累計実績にみる自社大型イベントの拡大進捗

本イベントは、2025年7月の大阪開催以降、東京、福岡、名古屋、仙台、岡山、熊本、兵庫、神奈川、広島、鹿児島、千葉、徳島、新潟へと開催エリアを順次拡大し、1年間で14都市での開催を実現いたしました。同日に2都市で同時開催を行う等、開催体制の強化も進んでおり、累計開催数は30回、参加者数は延べ15,000名を突破しております。

自社大型イベントを起点とするスパイラル型成長モデルにおいては、起点そのものの再現性に加え、当該起点を面的に拡大できるか（複数都市・複数エリアでの同時多発的な展開が可能か）が、モデルの持続的な成長力を左右する重要な要素になるものと当社は捉えております。本イベントが1年間で14都市へと開催エリアを広げ、累計30回・15,000名を突破した実績は、自社大型イベントという起点が単一都市にとどまらず全国規模で拡大再生産されることを示すものと考えております。

2. スパイラル型成長モデルにおける本イベントの位置づけ

当社は、自社大型イベントによる新規顧客獲得を起点として、イベントECプラットフォーム「machicon JAPAN」の拡大を促進するスパイラル型の成長を企図しております。当社が企図する循環は、以下のとおりです。

- 新規開催エリアにおける新規顧客の獲得
- 各エリアでの参加体験価値向上によるリピート参加の獲得
- 「machicon JAPAN」全体の会員基盤・集客力の底上げ
- プラットフォーム収益拡大による新規エリア開拓投資の拡大
- 新規エリアでの自社大型イベント企画機会の拡大
- 開催都市数・開催頻度のさらなるスケール化

1年間で14都市への拡大および累計30回・15,000名突破という実績は、この循環における「新規エリアでの顧客獲得」および「新規エリアでの企画機会拡大」が有効に機能していることを示すものです。当社は、自社大型イベントが単発の集客施策にとどまらず、地理的にも規模的にも拡大再生産され得る起点として機能し得ることを確認いたしました。これにより、当該起点のさらなる拡大を通じてスパイラル型成長モデルを推進していく確かな足がかりを得たものと捉えております。

3. 開催エリア拡大の状況

新たな開催地として2026年7月に徳島、新潟、茨城が追加となりました。8月には山形、静岡、京都、山口、愛媛など、今後も新エリアが続々と登場いたします。

<茨城（つくば）>

会場：つくば国際会議場

住所：茨城県つくば市竹園2-20-3 1F 多目的ホール

開催日時：2026年7月25日（土）18:00～20:00

<山形（山形市）>

会場：山形国際交流プラザ（山形ビッグウイング）

住所：山形県山形市平久保100 1F 展示場1

開催日時：2026年8月1日（土）18:00～20:00

<静岡（浜松市）>

会場：えんてつホール

住所：静岡県浜松市中央区旭町12-1 遠鉄百貨店新館8F

開催日時：2026年8月8日（土）18:00～20:00

4. 今後の展望

当社は今後、新規開催都市のさらなる拡大および同日複数都市開催の強化を通じて、自社大型イベントを起点としたスパイラル型成長モデルの拡大再生産を進めてまいります。「machicon JAPAN」が担う全国規模の集客・販売基盤と、自社大型イベントの企画・主催機能を組み合わせることで、出会いの体験価値向上とプラットフォーム全体の拡大を同時に実現し、事業規模の拡大および収益機会の拡充を図ってまいります。

以上